

メキシコの恐竜化石産地

平成12年10月23日から11月5日にかけて、メキシコ北部のコアウイラ州の恐竜化石産地を調査する機会に恵まれましたので、ご紹介します。



メキシコの主な恐竜化石産地は、アメリカと接する北部地域で、気候は乾燥しています。山々もほとんど草木におおわれておらず、遠くからでも地層の状況がよく観察できます。大きな断層が山を切っていることなどが一目でわかり、ダイナミックな大地の動きが強烈に伝わってきます(写真)。このような状況を見ると、日本のような表土や草木におおわれた場所で地質を調べることの難しさを再認識させられます。



遠方に見える山には地層が見え、中央付近には左上から右下に走る断層（衝上断層）が見られる。

今回の調査で、実際に見ることができた化石は、力キなどの二枚貝の化石や、カメ類、“ワニ類”、恐竜類の化石です。メキシコのこの付近の地層は、浅い海でできた地層と、川や湖でできた地層が互いに重なり合っていて、御船の恐竜時代の地層と様子がとてもよく似ています。しかし、驚くことに、この地域では、恐竜の化石が浅い海でできた地層から数多く発見されているのです。

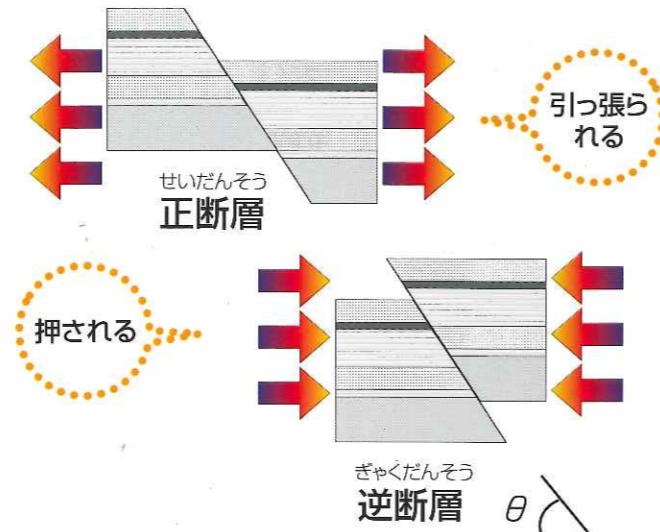
恐竜は陸上で生活しているので、普通、その化石は、川や湖でできた地層の中によく保存されます。御船の場合も今のところ浅い海にすむ貝の化石が見つかる地層よりも、川や湖でできた地層から多くの恐竜化石が発見されているのです。しかし、メキシコの例にもあるように、今後、浅い海でできた地層からも恐竜の化石が発見されることを予想しておかなければならぬようです。御船町では、このような地層は、ミフネリュウの産地として有名な上梅木や粒麦、七瀧、浅藪などによく露出しています。(学芸員 池上直樹)



豆知識 だんそう 断層

断層とは、大地のひび割れです。地層が見える崖などでは、縞模様がすれて見えます。

断層は、大地が押されたり引っ張られたりすることによってできます。断層の種類によって、大地に加わった力がわかります。



*※衝上断層とは、θが45°以下の逆断層のことをいいます。

貴重な資料をありがとうございます

恐竜博物館に貴重な化石・標本や書籍などをたくさんいただきました。
ありがとうございました。

寄贈
平成12年度

- 古家 修 氏(県内) ……スッポンモドキ化石1点
- 御船中学校(県内) ……御船層群産甲殻類化石1点
- 西口昌次 氏(兵庫県) …貝化石、植物化石、など13点
- 岩本昌三 氏(兵庫県) …貝化石など6点
- 中原隆三 氏(福岡県) …貝化石3点
- 熊本大学教育学部地学教室(県内) …大型化石・岩石標本
- 北里幸則 氏(県内) ……貝化石
- 岩下勝樹 氏(県内) ……書籍1081冊
- 富田優司 氏(県内) ……アンモナイト化石など5点
- 杉村道秋 氏(県内) ……御船層群産貝化石標本2点
- 荒木孝博 氏(青森県) ……虫入り琥珀 など 36点
- 福島日出海氏(福岡県) ……カメ類化石 1点
- 牧野耕治 氏(県内) ……二枚貝化石 1点
- 松本祐丞 氏(県内) ……スッポンモドキ化石 1点

御船町恐竜博物館情報誌
ダイナソートピックス No.1

■発行日／平成13年9月15日

■編集／御船町恐竜博物館

〒861-3207 熊本県上益城郡御船町大字御船995-3
TEL (096)282-4051 FAX (096)282-4157

<http://www2.ocn.ne.jp/~dinomuse/>

御船町恐竜博物館情報誌 ダイナソー トピックス

Dinosaur Topics



発行のごあいさつ

御船町恐竜博物館 館長 丹生正作

御船町恐竜博物館は、平成12年4月の正式オープンから2年目を迎え、日頃から、多くの方々にご来館いただいております。

また、当館が実施する発掘調査や化石教室などにも、多くの方に、利用者または協力者として、ご参加いただいております。

今後も、御船町の自然をとおして、地域のみなさまや博物館を訪れるみなさまと、心の通った交流をおこないながら、利用者主体の博物館活動を展開していきたいと考えております。

そんなことを願って、このたび、「ダイナソートピックス」を発行することにいたしました。今回を第1号として年間4回程度、当館の活動の紹介や恐竜をはじめとする地球の歴史に関する話題などを提供していく予定でございます。本誌が、当館とみなさまをつなぐ架け橋となれば幸いです。



いろいろなことにチャレンジ！

楽しかったよ！
おもしろかったよ！

たくさん学んだ博物館セミナー

平成12年度
博物館セミナー報告

あと、少しで
完成ダネ!!



ペーパークラフトとおりがみ



これで
いいか
なあ…

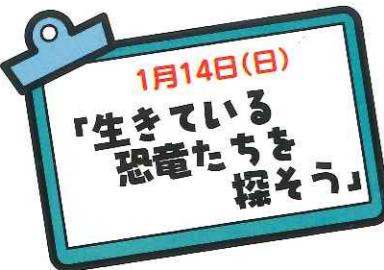


お父さんも
挑戦！



地層の中に
化石発見
…！？

地層の調べ方



1月14日(日)

「生きている恐竜たちをさがそう」

寒い、今日は本当に寒い！厳しい寒さの中、天君ダムで水鳥の観察。「あっ、いた！」講師の田中先生が用意してくださいました。望遠鏡をのぞくと、きれいなオシドリがはっきりと見えました。普段は「水にカモがいるなー」というくらいにしか見ていなかったのにこうして望遠鏡で見てみると、その美しさ、種類の多さにおどろかれます。そして、その鳥たちの渡りの話を聞くと、生命や自然の力強さに圧倒されます。

この後、天君ダムの近くにある恐竜化石発掘現場を見学。実は、現在空を羽ばたいている鳥たちは、小型の肉食恐竜から進化したということが定説となっています。この発掘現場からも鳥と一番近い肉食恐竜の歯の化石が見つかっているのです。

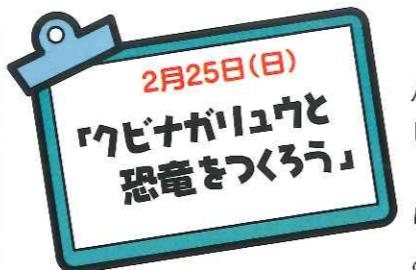
午後は、野鳥の森へ移動し、暖かい部屋の中から、いろいろな鳥たちを観察。参加者のみなさんも講師も鳥たちの美しさに夢中になってしまい、気がついたら、終了の予定の時刻を過ぎてしまっていました。

最後に、このセミナーの講師をお引き受け下さり、懇切丁寧にご指導下さいました田中忠先生、岩下勝樹先生に心から感謝申し上げ、セミナーの報告とします。



平成13年度の
セミナーの予定

※各セミナーは参加申し込みが必要です
※1ヶ月前から参加の申し込みを受け付けます。



2月25日(日)

「クビナガリュウと
恐竜をつくろう」

クビナガリュウとアパトサウルスを作りました。56名の参加者が集まり、12年度のセミナーとしては、最も盛況でした。完成品を見ると簡単そうに見えて、いざつくりはじめると、親も子も完全に熱中。1時間ほどで、クビナガリュウが完成しました。

さて、次は、折り紙です。これが結構難しい。苦労しながらも、かわいいアパトサウルスができて、みんな大喜びでした。そして、もっとちがう種類の恐竜をつくりたいと希望される方々が多く、みなさんとても興味を持たれたようでした。



セミナー参加者の声

「やさしい火山学」

- ・火山の事を短い時間でわかりやすく説明していただき勉強になりました。（大人）
- ・いっぱい火山のことについてわかった。
ちょっと子どもではわかりにくいところもあった。（小4）

「生きている恐竜たちをさがそう」

- ・天君ダムで実際に化石でのた場所を見て恐竜についての疑問をいろいろ聞いてよかったです。（大人）
- ・なにげなく見ているカラスやツバメなど何種類もいたり形や特徴がちがうのが勉強になりました。（大人）

クビナガリュウとアパトサウルスを作りました。

56名の参加者が集まり、12年度のセミナーとしては、最も盛況でした。



3万人目の入館者の方は、鹿児島市の高橋博行様（写真提供：情報管理課）



2001年2月1日、この日は博物館にとって記念すべき日となりました。昨年4月18日にリニューアルオープンして以降、入館者が3万人を突破したのです。

3万人目の入館者の方は、鹿児島市からお越しの高橋博行様ご家族で、熊本へ里帰りされての事でした。甲斐町長より記念品を渡され「3万人目ときいて驚きましたが、いい記念になります。」と笑顔。

当日は、日曜とあって県内外からの家族づれが多く、大きな恐竜の骨格を前に子供達の歓声が響いていました。



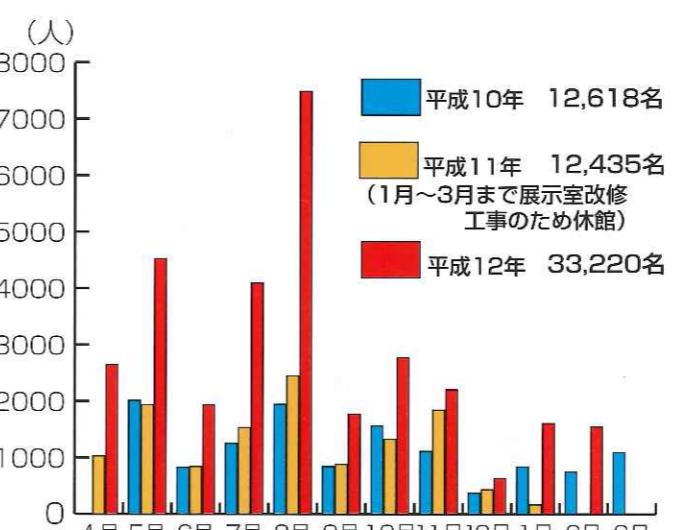
御船町恐竜博物館入館者数

左の表は、平成10年・11年・12年度の恐竜博物館の入館者数です。平成12年4月のリニューアルオープンから観覧料が有料になりましたが、入館者数は、2.5倍以上になりました。

実際に見たり、触ったり、五感を使って体験し考えることは、本やインターネットなどバーチャルの世界では体験できないことです。町内はもちろん県内外からも「本物」を見るために多くの方がやってこられます。

しかし展示の充実はもちろんのこと、来館者の学習のお手伝いをするスタッフの配置、学校の授業での利用を考えたプログラム（教材）づくりや学習できる施設の整備（実習室）など、やらなければならない課題も山積みしています。

これからも、御船の大地が私たちに語りかけてくれる情報を、みなさんと共に共有できるように活動を展開していくので、ぜひ博物館の活動にご参加ください。



博物館へのメッセージ

入館者の方から「博物館へのメッセージ」がたくさん届いています。
その中からいくつかご紹介します。

- 初めて恐竜博物館にきました。手に触れるができるのでとても良かったです。
- 今日は岐阜からきました。途中、道が分かれづらかったので、もっと目印をたくさん作ってほしい。（大人）
- 大切な化石に直接触れることができる。また触れさせたいといった思い切った仕方にびっくりするとともにうれしく思いました。
- 東京からやってきました。外観にがつかりましたが、中に入ってびっくりしました。とっても楽しかったです。

- きょうはとてもたのしかったです。ぼくは、アロサウルスの絵を書きました。ぼくは恐竜が大好きです。（小学2年生）
- 御船の方が早く発見されたのにあんまりPRがないと思う。御所浦のようにもっとPRや展覧会をして御船をPRしてほしい。（御船町19才）
- 思っていた以上に楽しい時間をすごすことができました。（大人）
- 狭いスペースを有効に使っていて良かったです。
ものすごく、いい勉強になりました。



「ダイナソートピックス」に記事を投稿してください！

御船町恐竜博物館ニュース発行しておりましたが、今回から、「ダイナソートピックス」として皆様のおともにお届けすることになりました。御船町恐竜博物館が、「モノが陳列されているつまらない場所」にならないように、博物館に集う皆様といろいろな活動をおこなっていきたいと考えています。博物館の活動にどんどん顔を出し、口を出し、自分たちの博物館として育ててもらえばと思っております。「ダイナソートピックス」編集室では、博物館に対する提言、話題提供、研究ノート、記事など広く募集しております。多数のご投稿をお待ちしております。